

「だれもが自分らしく生きるために」



上地小学校の5年生は、1学期に福祉実践教室で障がいのある人の疑似体験をしました。2学期は、「妊婦」「高齢者」「心と身体の性別が異なる人」など、他にも多くの人が町の生活に不便さを感じていることを学習しました。そこで、直接インタビューしたり、岡崎駅や岡崎公園へ調査に出かけたりして情報を集めました。3学期は学区の福祉について集めた情報を地図にまとめています。自分たちの住む町のよさや課題を見つめ、自分たちにできることを考えていきたいです。

(文責：上地小学校 石田 みゆき)